

訪日旅行報告書

ルシー・オーブラック 高校
アナイス・メール

日本は私にとって未知の国ではありませんでした。2017年、そして2019年にも訪れたことがあります。いずれも大変素晴らしい経験でしたが、本当の意味で日本人と交流することはありませんでした。観光地を巡っただけで、日本人との接触がなかったことをとても残念に思っていました。日本人の生活様式や考え方についてもっと知りたいと思っていました。

今回の旅行でこれまでの旅にはなかったこのような部分を補い、日本を新たな角度から眺めることができるようになりました。



到着した時、本当に日本にいるのか信じられないような気分でした。飛行機から降りるとすべてが夢のように感じられましたが、みんな同じような気持ちだったと思います。外に一步踏み出した時からすべてがフランスと違っていました。とても清潔で、整然としており、光に満ち溢れているのです。バスでの移動中にも青空を背にした東京タワーの出迎えを受けるなど、私たちが待つ街の様子が垣間見えました。飛行機の旅で疲れていましたが、様々な場所を訪問し、今私たちがいるこの国について理解を深めようという意欲が沸いてきました。

上述のとおり、日本のことは旅行や本を通じて既に知っており、まずはアニメを通じて子供の頃から日本に興味を持っていました。その後、文化全般に興味は広がりましたが、多くの人がそうであるように私も出発点は漫画でした。漫画はある意味日本社会を映し出す鏡であり、社会とともに変化します。私たちは漫画の研究者にインタビューする機会を得ましたが、この時彼女は漫画という分野の普及、とりわけその国際化と、フランスが世界有数の漫画消費国であることを教えてくれました。こうして『Radiant』などフランス発の漫画が誕生し、今では日本でもとても人気があります。今回は漫画に見るエコロジーに関する展覧会を見学することができ幸運でした。多くの人気漫画（例えば『セーラムーン』など）が、メインテーマではありませんが「自然」という題材を取り上げていることを知りました。このことは様々な観点からとても興味深く、私たちの選んだテーマの研究にも役立ちました。



インフラに関しては、現代的な建物や交通機関にとっても驚きました。特に地下鉄は無料Wifiなども備えています。かなり斬新な雰囲気醸し出している建物も。例えばヴィーナズフォート（ショッピングモール）の内部は実に素晴らしく、そのデザインが強く印象に残りました。このような独創性は建物だけでなく、着ているものなどにも伺えます。例えば寺を訪問すると着物を着た人を見かけますが、着物はレンタルすることも可能で、こんなところに文化を分かち合いたいという思いが表われています。長い歴史を持ち、所作が細かく定められている茶の湯体験の時にも、同じことを強く感じました。そして文楽鑑賞時にも、このような時間旅行を体験することに。実に素晴らしい舞台装置の中で、洗練された操り人形を駆使して行われる伝統芸能です。すべてがダイナミックで、人形であることを忘れてしまいます。鑑賞したのは1幕のみで、そのため物語についていくのは少し難しかったですが、それでもこれは興味深い体験でした。こういうところに文化の面でフランスとの大きな差が伺えます。共通点が全くないと思えるほどです。



しかし日本科学未来館の見学時には、両国の接点が認められました。ここは私にとって初めての場所ではなく、これまでの旅行の際にも訪れたことのあるお気に入りのスポットです。とてもワクワク感を感じさせてくれる施設です。建物の外観は重厚感があり未来的で、館内も広くて外側のデザインを踏襲しています。見所一杯で、時には各自思い思いに館内を巡ることに。ただ地球の新たな側面を再発見したような印象を得たことは、全員に共通していました。改めて自分に問い直すことで、考え方に変化が生じたように思います。新たに出てきたいくつものテーマについて考えさせられ、既にお馴染みの他のテーマについても新たな視点を提示してくれました。私たちの選んだテーマ「エコロジー」に関する展示が多く、まさに身近な問題だと感じました。



冒頭にも書いたとおり、最初に最も印象に残ったのは清潔さです。パリと違って街中にゴミ箱が見当たらないのに、路上のゴミは全くありません。またこれは文化として根付いたものだと思いますが、どこでも自然が大切にされており、自然が多様なかたちで表現されています。日本では昔ながらの街並みが保全・再現され、こうした界限では自然の素材で作られた手作りのオブジェをよく見かけます。自然が装飾の要素として実際に使用されており、こうした事例は公園が非常に多いという点にも表れており、巨大なビルとの対照をなしています。また寺院もその多くが手入れの行き届いた庭園を備えています。自然を造作する技術が非常に進歩しているわけですが、驚くことにこうした公園や寺院は街中に点在し、その一部が極めて現代的な建物と隣り合っていたりもするという事です。それにもかかわらず景観の調和は保たれており、そこに馴染むのに時間はかかりません。



一方、新技術もこの自然というテーマを使用し、自然を別の方法で表現してメッセージを伝えています。このことはチームラボボードレスと日本科学未来館を訪問した時に見てとることができました。前者はデジタル化された自然を使用して斬新な表現を着想し、現代人と自然を結び付けています。後者は生物多様性から人間の細胞全般に至るまで、さらには宇宙をテーマとするフロアなど、地球に関する様々な主題を取り上げています。この博物館ではちょうど自然と機械の関係を問うテーマが取り上げられていました。これについては自然が過去を、新技術が未来を表象しており、共存は不可能とみなして両者を対立させる傾向があります。しかし博物館の一角では、植物の世話をしながらその特徴を調べ

る機械を紹介していました。日本社会の持つこのような視点は、フランス現代社会における自然の位置付けに対する私たちの見方を問い直させるものだと思います。

こうした現代社会の問題についてホストフレンドと意見交換することができ、彼女たちは個人的な観点から多くの有益な意見を示してくれました。私たちは同年代の若い日本人と直接交流する機会を得たわけです。日仏両国共通のテーマの中には、それらに対する見方が異なるものもあります。そこで多くのテーマについて議論し、日本について多くのことを学ぶことができました。一方私たちも様々なテーマ（ブregジット、フランス革命など）について知っていることを伝え、彼女たちの意見を聞きました。

一部の違いはあっても、趣味や音楽の好みなど、多くの共通点があることが分かりました。お互い話題に事欠かず、遅くまで語り合いました。ホストフレンドの友達も合流して、一緒に色々な場所を訪ねました。今回の滞在では既に訪れたことのある場所もありましたが、彼らがいたおかげで特別な楽しさがありました。今でもホストフレンドとのやり取りは続いています。いつか再会したいと心から願っていますし、お互い家に迎える準備も万端です！知り合ってたった2日しか経ってないのに、別れ際には涙が溢れました。残念ながら行ってみたいと思っていた彼女の学校を訪問する機会はありませんでしたが、男子校と共学の高校がどのようなものか見ることができました。とても楽しい体験で、柔道や書道の授業、1日の終わりの教室掃除など、たくさんの良い思い出ができました。

旅行中最も心を打たれたのは広島市の平和記念資料館でした。とても興味深く見学しましたが、その内容は壮絶なものでした。混雑していて説明をすべて読むことはできなかったものの、この歴史的な出来事の重大性を理解するには十分でした。

最後になりましたが、文化的な側面について、また個人的にも多くのことを学ぶことができた今回の旅行に参加する機会をいただき、心から感謝しています。忘れられないこの機会を得たおかげで、幼少の頃からの夢をかなえることができました。

